

＜目指す姿＞

- ◆ 「学都石川」としての力を活用し、**防災や復興などの教育・研究フィールド**として、数多くの学生や教員、研究者が能登に訪れ、さまざまな知見が交わるとともに、**交流人口や関係人口の増加**につなげていく。

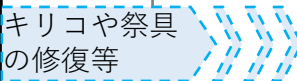
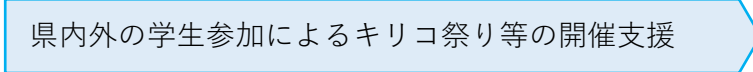
プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）				
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
① 能登の復興に向けた活動への支援と合わせた継続的な関係性づくりの促進【企画振興部】（14ページ）	「いしかわサテライトキャンパス」の推進等、大学の専門的な知見や、学生の若い力を活用し、地域と連携して災害対応や復興支援に取り組む学生や大学ゼミ等の活動を支援するとともに、地域との継続的な関係性づくりを促します。	地域と連携してフィールドワークや災害対応・復興支援等に取り組む大学ゼミ等の活動を支援									
		復旧・復興に寄与する形で災害ボランティアと地域住民との交流を実施可能なものから実施			地域からのニーズ等を踏まえた、大学生と地域との交流活動						
② 高等教育機関と連携した復興の推進【企画振興部】（14ページ）	金沢大学が開設した「能登里山里海未来創造センター」や、能登学舎を拠点とする能登里山里海SDGsマイスタープログラムなど、高等教育機関が進める能登をフィールドとした様々な研究・教育活動を後押しし、高等教育機関と連携した能登の復興につなげます。	能登里山里海未来創造センターの設置	能登里山里海未来創造センターや能登里山里海SDGsマイスタープログラムなど、高等教育機関が能登をフィールドとして行う様々な研究・教育活動を支援								
③ 防災・復興に係る連携機関の設置【企画振興部】（14ページ）	県内高等教育機関と自治体、企業、NPO法人等の各種団体が相互に連携し、石川県における地震をはじめとする大規模自然災害に対し、防災・減災や発災後の復興人材の育成、啓発活動、情報収集・提供等に組織的に取り組み、これらの知見の定着と地域の活性化を図ります。	県内高等教育機関と自治体、企業、NPO法人等の各種団体等が相互に連携し、防災・減災や発災後の復興人材の育成、啓発活動、情報収集・提供等に取り組む									

現在の状況	今後の進め方
① ・サテライトキャンパス推進事業において、災害ボランティアと併せて、地域の事業者や住民との交流を促進（R6.8～） ・ 地域課題研究ゼミナール支援事業に「復興課題枠」を創設 (R6.6補)し、能登の復興や防災に向けた活動を支援 R6:能登でのこども食堂開催など10件を採択 R7:仮設住宅の環境改善など19件を採択	・被災地の復興状況も踏まえつつ、受入先の拡充や地域活動の充実を図るとともに、実施可能な地域では、大学のゼミ単位でのフィールドワークも受入れる等、事業の拡充を検討 ・引き続き、地域課題研究ゼミナール支援事業（復興課題枠）を通じて、大学や学生の力と地域ニーズを結び付け、復興支援を支援する。
② ・(公社)大学コンソーシアム石川に防災・復興ネットワークを設置(R6.6) ③ ・奥能登行政庁舎に「公益社団法人大学コンソーシアム石川 能登分室 学都いしかわ防災・復興ネットワーク(能登活動拠点)」を設置(R6.8) ・金沢大学と珠洲市が主体となり実施する「能登里山里海SDGsマイスター・プログラム」では、受講生が能登の復興・地域再活性化に向けた課題分析やその解決に向けた実践活動を実施中	・引き続き、(公社)大学コンソーシアム石川を通じ、県内高等教育機関と連携した能登の復興推進に取り組む。 ・引き続き、金沢大学の知を活用し、能登の創造的復興、活性化に向けて、能登の里山里海の持続可能な未来をつくる若手リーダー人材を育成。

関連する指標（R7.12末時点）	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
地域課題解決などのフィールドワークプログラムに取り組む学生数（累計）	311 人	441 人	1,308 人	5,000 人

＜目指す姿＞

- ◆ 「学都石川」としての力を活用し、**防災や復興などの教育・研究フィールド**として、数多くの学生や教員、研究者が能登に訪れ、さまざまな知見が交わるとともに、**交流人口や関係人口の増加**につなげていく。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
④ 学生の祭りへの参加促進 【企画振興部】（14ページ）	担ぎ手が不足する能登の祭りに、学生が参加することで祭りを盛り上げるとともに、学生が能登の伝統文化に触れる学びの場を創出します。	 キリコや祭具の修復等		 県内外の学生参加によるキリコ祭り等の開催支援								

現在の状況	今後の進め方
④ ・担ぎ手が不足する奥能登の祭りに学生が参加する「能登・祭りの環」支援事業は、R6は活動を休止していたが、R7から再開。	・すでにR7年の夏から、奥能登各地の祭りに多くの学生の参加が決定してきており、R8以降も引き続き多くの学生に参加いただけるよう働きかけていく。

関連する指標（R7.12末時点）	発災直後	R6.12末	現 状	目 標
		時点		
祭りの再開状況	—	30 % (R6再開状況)	53 % (R7再開状況)	—